

## 〇〇自主防災会規約書（例）

（名称）

第1条 この会は、〇〇自主防災会（以下「本会」という。）と称する。

（活動拠点の所在地）

第2条 本会の活動拠点は、次のとおりとする。

- (1) 平常時は、〇〇公民館とする。
- (2) 災害時は、〇〇公民館または〇〇避難所とする。

（目的）

第3条 本会は、住民の隣保協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震その他の災害（以下「地震等」という。）による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

（事業）

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 防災に関する知識の普及・啓発に関すること。
- (2) 地震等に対する災害予防に資するための地域の災害危険の把握に関すること。
- (3) 防災訓練に関すること。
- (4) 地震等の発生時における情報の収集・伝達、避難、出火防止及び初期消火、救出・救護、給食・給水等応急対策に関すること。
- (5) 防災資機材等の整備等に関すること。
- (6) 他組織との連携に関すること。
- (7) その他、本会の目的を達成するために必要な事項。

（会員）

第5条 本会は、〇〇自治会にある世帯をもって構成する。

（役員）

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 〇名
- (3) 防災委員 〇名
- (4) 班長 若干名
- (5) 監査役 〇名

2 役員は、会員の互選による。ただし、防災委員は、消防職員・団員OBなどを優先的に会長が指名した者とする。

3 役員任期は、□□は〇年、△△は〇年、その他の者は〇年とする。正、再任することができる。

（役員の仕事）

第7条 会長は、本会を代表するとともに会務を統括し、地震等の発生時における応急活動の指示を行う。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理で行う。また、各班の活動の指示を行う。
- 3 防災委員は、住民に対する啓発活動や防災活動に専門的に携わる。
- 4 班長は、幹事会の構成員となり、会務の運営にあたるほか、班活動の指示を行う。
- 5 監査役は、本会の会計を監査する。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

(総会)

第9条 総会は、全会員をもって構成する。

- 2 総会は、毎年1回開催する。ただし、特に必要がある場合は臨時に開催することができる。
- 3 総会は、会長が招集し、次の事項を審議する。
  - (1) 規約の改正に関する事。
  - (2) 防災計画の作成及び改正に関する事。
  - (3) 事業計画に関する事。
  - (4) 予算及び決算に関する事。
  - (5) その他、総会で特に必要と認めた事。

(役員会)

第10条 役員会は、会長、副会長、防災委員及び班長によって構成する。

- 2 役員会は、次の事項を審議し、実施する。
  - (1) 総会に提出すべき事。
  - (2) 総会により委任された事。
  - (3) その他、役員会で特に必要と認めた事。

(防災計画)

第11条 本会は、地震等による被害の防止及び軽減を図るため、防災計画を作成する。

- 2 防災計画は、次の事項について定める。
  - (1) 地震等の発生時における防災組織の編成及び任務分担に関する事。
  - (2) 防災知識の普及に関する事。
  - (3) 災害危険の把握に関する事。
  - (4) 防災訓練に関する事。
  - (5) 地震等の発生時における情報の収集・伝達、避難誘導、出火防止、初期消火、救出・救護、給食・給水、災害時要援護者対策、避難所の管理・運営及び他組織との連携に関する事。
  - (6) その他、必要な事項。

(会費)

第12条 本会の会費は、総会の議決を経て別に定める。

(経費)

第13条 本会の運営に要する経費は、会費、その他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第14条 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計監査)

第15条 会計監査は、毎年1回監査役が行う。ただし、必要がある場合には、臨時にこれを行うことができる。

2 監査役は、会計監査の結果を総会に報告しなければならない。

#### 附 則

この規約は、令和 年 月 日から実施する。